

目標達成計画

作成日: 平成 26 年 3 月 30 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有が不十分で実践への取り組みは今からである	地域密着型事業所としての理念の確立。 個々の職員が理念を認識し、実践へとつなげる	理念の掲示 浸透するまで 申し送り時などを利用して読み確認する。またミーティングで理念の意味するもの、またそれを日々実践するために私達の取り組みを話し合う。近隣の幼稚園・保育園・学校には新学期に挨拶。民生委員の会合等にも挨拶の機会を得る。	3ヶ月
2	12	就業環境の整備	目標を持ちやりがいをもって働ける環境の整備	目標シートや人事考課表を活用し、個々が目標を持ちやり甲斐を感じられるような職場環境と環境を整備する。その為には何時でも意見が出せる関係づくりその意見が反映させられる環境を作る。理念を共有する。	12ヶ月
3	5	市町村との連携	行政との連携を密に図りスムーズな施設運営を行う	行政との連絡を密にとり、良い関係づくりが出来る様心掛ける 報告 連絡 相談 確認を基本に連携を行う。	2ヶ月
4	6	身体拘束をしないケアの実践	事業所としての原則をマニュアルなどに文書化していく	身体拘束をしないための原則を具体的にマニュアル化していく。機会ある毎に読み合わせ 注意喚起する。明らかな拘束に関してはほぼ自覚があるがグレーゾーンの分野は特に注意喚起を行う 拘束を予防できる環境づくりを行う。	12か月
5	10	運営に関する利用者 家族等意見の反映	外部評価の家族アンケート内容を事業所内で検討し家族へ回答していく	ご家族アンケートの内容を職員ミーティングで検討取り組む課題を具体化し実践していく。特にリレーション・家事活動等はすぐに取り掛かる。ハードに関しても対応出来るものに関してはすぐに対応する。職員の質を高める取り組みは1年を通して行う。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。